

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド《江田ナーサリー》	種別：認可保育所	
代表者氏名：熊谷貴子	定員（利用人数）：30名	
所在地：横浜市青葉区あざみ野南2-4-7 セントラルビル徳江1階		
TEL：045-912-6178	ホームページ： http://www.starchild.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成16年 12月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社		
職員数	常勤職員：8名 非常勤職員 8名	
専門職員	施設長 1名 保育士 13名	
	栄養士 1名 調理員 2名	
	事務員 1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室（3）・事務室（1）・調理室（1）	トイレ 空調機 など

③理念・基本方針

- ・運営理念「わたしたちは、かかわるすべての人が子育ての楽しさ、喜び、感動を共有できる保育施設を運営します」
- ・保育理念「わたしたちは、子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践します」

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・異年齢で関わる機会の多い園運営・地域交流
「ちいさいうち」をコンセプトに、自由遊び・生活の部分で異年齢で関わる機会が多くなる環境を大切にしています。年下の子どもが年上の子どもに憧れて「やってみたい」と挑戦したり、年上の子どもは、年下の子どもの困っている様子を察知して、自然と援助したりする姿が多くみられます。年齢別に必要な保育とのバランスを心掛けています。
昨年度から始まった、月末火曜日開催の「なんでもしていいランド」は、ままごと・製作・感触遊び・電車遊び・運動器具などのコーナーを設けて、子ども自身が選択して、満足いくまで遊ぶコーナー遊びを実施しています。今年度は、職員の発案で、この企画に子育て支援の施設開放を併設して、地域の親子にも楽しみながら交流しています。
施設開放・講師による育児講座・園児交流を実施しています。近隣大学の小児看護講師指導の心肺蘇生法（AED講習）に近隣施設も招待して定例化しています。実習生・ボランティアの受け入れも実施しています。江田駅前商店会の企画の街路自路の花壇の剪定・ゴミ拾いにも参加しています。開園20年目、ヒューマンスターチャイルドの1号園として開園当初からのコンセプトと地域との交流を大切にしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月2日（契約日） ～ 2023年12月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

【特に評価の高い点】

◆家庭的な雰囲気の中で主体性や協調性を育てています

職員は、園児30名の少人数のため、担当の枠を超え、子ども一人ひとりに目が向けられ個性や個別の発達を捉えることが出来ています。子どもも担任以外のどの保育士とも自然に関わることが出来ています。0・1歳児が一つの保育室で2・3・4・5歳児が異年齢で過ごすことで、年上の子どもは、年下の子どもを可愛がる優しさや思いやりが育まれています。年下の子どもは、年上の子どもの遊び方やルールを覚え、「自分もやってみる」と積極的にチャレンジする向上心が培われています。

保育士は、子ども同士で好きな遊びを楽しむ中で、相手とのコミュニケーションをとる力を培い、集団遊びを通して、ルールを守る事の大切さを理解出来るように援助しています。異年齢で様々な活動をしていく中で、楽しいや悲しいなどの感情を経験し、相手の気持ちをくみ取ることが出来るように、気持ちに寄り添い、見守っています。このような働きかけの結果、子どもの主体性が育まれ、協調性が育つようになっています。

◆園の活動を丁寧に伝えることで保護者との連携をとっています

職員は、朝の受け入れの際に、保護者から子どもの健康状態や家庭での様子を聞くとともに何気ない会話を交わすことで、信頼関係が生まれるように努めています。日頃から些細なことでも頻繁に保護者に伝え、子どもの成長が感じ取れるようにしています。毎日、ドキュメンテーションを作成し、保護者に配信することで、保育活動の共有ができ、安心して子育てが出来るようにしています。結果、園への理解や、保育方針への理解に繋がり、園と連携・協力し、子どもについて考えるような関係性を築くことが出来ています。

◆地域との関わりを広げ、子どもの生活の連続性に配慮しています

創立から20年、地域の発展とともに地域に根付く保育園として受け入れられています。

子どもたちは、散歩に出かけ、地域の住民と交流したり、江田駅前商店会の花壇整備を行う団体との交流をしたりして、様々な人と触れ合い、人とつながる力や人や物を大切に作る豊かな心を育てています。玄関には、青葉区の子育て講座、山田地区センターの「青葉お話フェスティバル」のポスター、隣接する子育て支援サロンのチラシなどを置き、保護者に情報提供をしています。テラス開放や講師を迎えての育児講座などの地域子育て支援事業を実施し、地域全体で子育てを支援する一助を担い、地域で生活する子どもたちが安心して生活できるようにしています。

【改善を求められる点】

◆保育の質の向上に向けた取り組みの中で、保育観の共有が求められます

職員は、入職時の研修や年度初めの職員会議で、理念に沿った保育の有り方や職員の基本姿勢を基本方針マニュアルで確認しています。毎月のカリキュラム会議で唱和

し、日々の保育の中でも理念に立ち返るようにしています。保育実践後には、主体的に自らを振り返り、職員会議などで共有されています。しかし、園での経験年数などから、実践の詳細な場面でそれぞれ持っている保育観に違いがみられます。今後は、現場に子ども一人ひとりを大切にする法人理念を浸透させ、実践の場で共通理解するとともに、保育実践の具体的な場面での気になる点を出し合い、さらなる話し合いを深め、保育観を共有していく事が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、第三者評価3回目の受審をさせていただきました。
ご担当いただいた方々におかれましては、異年齢保育での子ども同士の自然な関わり、保護者対応・地域交流の部分を評価させていただきました。
保護者並びに地域の皆様に支えられ開園20年目を迎えますが、スターチャイルドの保育と運営にご理解・ご協力をいただきました結果であると思ひ、感謝申し上げます。
また、全職員でお子様の個性を尊重し、年齢発達等も配慮した保育の部分を評価していただき、職員一同、より良い保育を目指していきたいという思いになりました。
最後に、今回の評価に携わっていただいた方々には、沢山の気づきをいただきましたことに、心から感謝いたします。
ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり